

仙台地本 名取市いのちの森 2021年育樹作業開始

2021年5月20日、6月30日、今年の名取市いのちの森育樹作業を開始しました。1回目、2回目ともに参加人数は少なかったものの約180本の苗木の補植と除草を行ってきました。「名取市いのちの森」の活動も8年目を迎えました。今回、作業をしながら観察してみると木々が急速に成長していて、カシワやコナラ等は高さが2m30cmを超えるものもありました。そして大きく育った木の下では日光がさえぎられるため雑草が生えなくなって除草作業も以前と比較するとずいぶん楽になってきました。

一方で今年も冬の寒さが厳しかったのかカシ類などの常緑高木が枯れていたり、成長が遅かったりしていました。人の手がかからない森になるためにはもう少し時間が必要なようです。

今、NHKの朝ドラでは森の大切さや森林を守るための林業の必要性が日の目を見ない事も取り上げられています。森をつくりそれを維持管理するという事は本当に大変な事だと実感します。今回、組合員のお子さんが一緒に木を植えてくれました。名前を付けて自分の木として、時に観察してくれて何十年後かに自分の木が大きくなったことを喜んでくれて興味を持ってくれれば、森の大切さが伝わって行くのではないかと思います。他にも木を植えてみたいお子さんがおられる方はぜひ各支部役員に声をかけてください。

コロナ禍が続き閉塞感がある中でなかなか外に出られず精神的に沈んでいる方もいると思います。気分転換に是非一緒に植樹会場に行ってお観察・植樹をしてみましょ。



森づくり運動継続活動中!!

組合員・ご家族のみなさんの参加をお待ちしております!!